

1 この科目の構成について

教 科	外国語	科 目	英語表現Ⅱ	単 位	2単位
対象コース	カレッジコース	対象クラス	3年4～6組		
使用教科書	Vision Quest English ExpressionⅡ				
使用副教材	Vision Quest ビジョン・クエスト総合英語 Vision Quest English ExpressionⅡ WORKBOOK				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
○ 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばしていく。	
1 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また伝えたい内容を整理して論理的に話す。	
2 主題を決め、様々な種類の文章を書く。	
3 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基ついて、情報や考えなどを整理して発表する。また発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。	
4 多様な考え方が出来る話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
まずトピックに関するモデル文とリスニングタスクを通して、そのレッスンで習得する内容を確認します。Study PointsやExpressionsではテーマに沿って、英語表現Ⅰで学習した縦割りの単一的な文法ではなく、複数の文法事項を使って表現する方策を学びます。Quick Responseを用いての英作文や音読などを行い、文法事項の確認を行います。その後Exercisesや準拠ワークブックを用いての習得事項の確認や、GOALを用いての表現活動など行っていきます。	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校	
習ったことを積極的に使う	授業内には活動の場が多く取り入れられています。今習ったことをその場で使うことで自分の身につけることができます。
ノートの取り方に工夫をする	ノートは左が説明、右がExerciseなどの演習となります。板書だけでなく、間違ったところや重要なところは線を引いたり、メモをするなどノートを取る際も積極的な姿勢が必要です。
(2) 家庭	
予習、復習を必ず行いましょう	予習は教科書のExerciseがそれにあたります。教科書のGrammarや参考書Vision Quest総合英語を参考に自分で解きましょう。また復習として準拠Workbookに取り組んで下さい。
教科書で扱った英文は必ず音読しましょう	音読は英語の基本です。授業中だけでなく、家庭学習の中心に位置づけて下さい。

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何を使って評価するのか—
定期考査60% 授業への参加状況10% 課題提出20% 小テスト(英単語など)10%	
評価における定期考査の割合	60%

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	①モデル文に関心を持ち、読もうとしている②間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている③積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。(10%)
(2) 表現の能力	ライティング(10%) ①学んだ文法や表現を使って、文を書くことが出来る②自分や与えられた課題について、文章を書くことが出来る③パラグラフの構成に基づいて文章を書くことが出来る④要約を書く手順を理解し、要約文を書くことが出来る スピーキング(10%) ①与えられた状況において、適切に話し、伝えることが出来る②自らの意見を、適切な表現を用いて伝えることが出来る
(3) 理解の能力	リスニング(10%) ①相手の言ったことを、正しく聞き取る②英文を聞き、正しい解答を述べる(10%) リーディング(10%) ①つなぎ言葉の使い方を理解している②パラグラフの構成を理解している③文章の要点をつかむことが出来る
(4) 言語や文化についての知識・理解	①いろんなトピックについて、内容を理解することが出来る②それぞれのページで学んだ文法や表現を理解し、知識として定着させている(→定期考査等を用いて評価)

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	表	理	知
1	4	Lesson 15 関係代名詞／関係副詞	「思い出の写真」(思い出) 修飾語を加える③ 関係代名詞(限定用法・非限定用法)、関係副詞、複合関係代名詞	●	●	●	
	5	Lesson 16 副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句 【第1回考査】	「科学技術の利用」(科学技術) 修飾語を加える④ 副詞、副詞的用法の不定詞、分詞構文	●	●		●
2	6	Lesson 17 副詞節①／② Lesson 18 原級／比較級 【第2回考査】	[道德教育を行います] 「携帯電話は便利だけど…」(携帯電話) 修飾語を加える⑤ 副詞節を導くものとして接続詞、複合関係代名詞 「犬派?猫派?」(ペット) 比較を表す① 原級と比較級を使った比較表現	●	●	●	
	7	Lesson 19 最上級／最上級の意味を表す表現	「思い出深いプレゼント」(思い出、プレゼント) 比較を表す② 最上級の用法。原級や比較級を使って最上級の意味を表す表現	●	●	●	
	8	Lesson 20 no+名詞、no-で始まる代名詞／部分否定／準否定 【第3回考査】	「インターネットの問題点」(インターネット) 否定を表す さまざまな否定表現	●	●		●
	9	Lesson 20 no+名詞、no-で始まる代名詞／部分否定／準否定 【第3回考査】	「インターネットの問題点」(インターネット) 否定を表す さまざまな否定表現	●	●		●
	10	Part 2 Lesson 1 パラグラフの構成：列挙・順序 実践文法問題対策① [Active Learning を実践します]	「ロボットの有用性」列挙／つなぎの言葉 First, Second, Third / To begin with, After that 実践文法問題対策：助動詞	●	●		●
	11	Lesson 2 パラグラフの構成：例示・追加 実践文法問題対策② [Active Learning を実践します]	「英語を学ぶ意義」例示・追加／つなぎの言葉 For example, In addition, Moreover / For instance, Furthermore, such as, Also, as well 実践文法問題対策：不定詞	●	●		●
	12	Lesson 3 パラグラフの構成：比較・対照 実践文法問題対策③ [Active Learning を実践します]	「都会と田舎」比較／対照／つなぎの言葉 A in contrast B, A on the other hand B, A while B / In contrast to, By contrast, compared to, Meanwhile, Unlike 実践文法問題対策：分詞	●	●	●	
	3	Lesson 4 原因・理由・結果 実践文法問題対策④ [Active Learning を実践します]	「深刻な黄砂問題」原因・理由・結果／つなぎの言葉 One of the causes is, due to, As a result, Because of this, / Since, This is because, so, thus, consequently, Accordingly 実践文法問題対策：比較	●	●		●
	1	Lesson 5 要点・要約 実践文法問題対策⑤ [Active Learning を実践します]	「ベジタリアン」要点・要約／つなぎの言葉 In other words, namely, In a word, To sum up, To conclude 実践文法問題対策：関係詞	●	●		●
			実践文法問題対策⑤ 実践文法問題対策⑥ [Active Learning を実践します]	実践文法問題対策：語法 実践文法問題対策：イディオム			